

道路の海拔情報をお知らせします ～北陸地方整備局管内で初、海拔表示シートの設置～

- 東日本大震災で甚大な被害をもたらした津波被害を踏まえ、津波被害を軽減するための対策の一つとして、道路施設等に海拔情報を表示し、道路利用者へお知らせしているところです。
- 海拔表示シートの設置は、6月29日に開催した道路標識適正化委員会（石川県部会）において仕様等（設置対象区間・間隔、レイアウト等）を決定したものです。
- これを受けて、まず金沢河川国道事務所において、北陸地方整備局管内で初となる海拔表示シートを七尾市内の国道160号（七尾市川原町～大田町間 4.0km、七尾市庵町～大泊町間 11.4km）に設置します。
- なお、石川県内の自治体においても設置に向けて準備、検討していくこととしております。

<海拔表示標識 設置作業>

- ・日時：平成24年7月27日（金） 午前9:00～
- ・場所：国道160号 七尾市川原町～大田町、七尾市庵町～大泊町 93箇所
七尾市川原町交差点から作業を開始します。
順次、富山県氷見市方面に向かって設置して行きます。（降雨時延期）

設置イメージ



【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
交通対策課長 村田 藤麿
TEL：076-264-9920 FAX：076-233-9617
能登国道維持出張所長 林 健一
TEL：0767-57-0778 FAX：0767-57-0779
※番号通知設定でお掛けください。

< 海拔表示シート 設置の概要 >

- ・ 日時：平成 24 年 7 月 27 日（金） 午前 9:00～
- ・ 場所：国道 160 号 93 箇所
 七尾市川原町～大田町（4.0km）
 七尾市庵町～大泊町（11.4km）
 七尾市川原町交差点から作業を開始します。
 順次、富山県氷見市方面に向かって設置していきます。（降雨時延期）

- ・ その他：
 - ・ 設置対象範囲は、石川県浸水想定区域図により津波による浸水深が 0m を超える区域、及びその隣接する区域（200m 程度）の道路区間とし、道路の縦断勾配等を考慮して設置することとしています。
 - ・ 表示する海拔値は、国土地理院が試験公開している「標高がわかる web 地図」もしくは道路台帳を活用しています。

